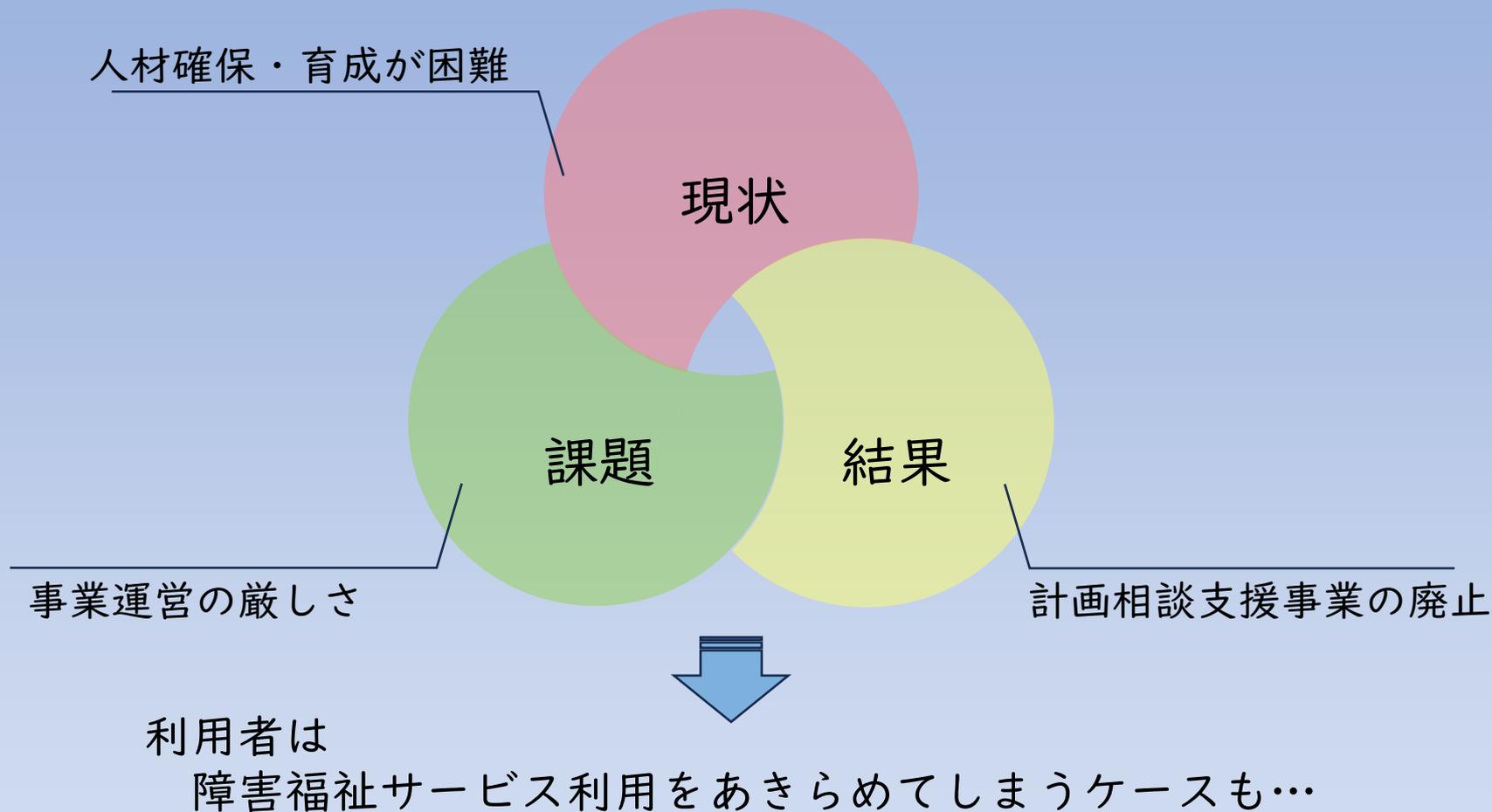


つながり合い、ともに進める相談支援 協定がつくる支援の心強さ



地 域：兵庫県加古川市
人 口 規 模：約26万人
基幹相談支援センター：1か所
地域生活支援拠点等：面的整備にて対応
相談支援事業所の数：27か所

協働体制の経緯とプロセス



計画相談支援事業所が安定運営できるモデルケースを作りたい

協働体制の仕組み



協定締結年月日／令和6年10月10日



市指定許可年月日／令和6年11月1日



協働体制①／6法人6事業所



協働体制②／相談支援専門員8名（うち現任研修修了者6名）



計画相談支援費の区分／機能強化型サービス利用支援費 I

名称)
ここからnet

協働がうまくいった理由・継続の工夫



報酬の増加

運営面の課題
が共通

→基本報酬の
増額により
事業所運営
が安定する



定例化

定例会議開催
日時の固定

→日程調整を
する負担が
無くなる



一体化

各種会議の一
体的な実施

→会議ごとに
参集する
負担が軽減
される



オンライン

SNSビデオ通
話による会議

→移動時間
がないため
通常支援へ
移りやすい



集合会議

ランチ会議の
実施

→ランチを
囲み会議を
通して
リフレッシュ

効果、成果、課題



ひとりじゃない、チームでの支援

対応が難しいことでも、協働体制のなかでケースの共有することで支援についてのアドバイスを得たり、振り返りを行うことができる

情報の共有や協働

情報共有ができることで情報提供がタイムリーになる
BCP、虐待防止委員会などの委員会開催を協働で実施



事業所運営の安定

報酬増により、安定した運営が可能
システムの導入など支援環境の整備につながる

地域へのメッセージ、今後の展望

複数事業所での協働体制を目指す前には…

- ・ 何から始めたらいいかわからない
- ・ 会議や議事録作成の機会が増えると業務を圧迫するのでは
- ・ ひとりのほうがラクなのは

協働体制を組んでみて

- ・ 報酬が上がり運営が安定した
- ・ 協働事業所間で情報共有や支援について相談ができる
- ・ 自立支援協議会などの取り組みに積極的になった

(展望)

計画相談支援事業所が元気な加古川市を目指して！



加古川市

協働の取り組みは支援の質の向上につながるとして、
今後、加古川市では協働体制を推進をしていく方針

